

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 救急医療搬送支援システム推進事業運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係

電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,126 千円 (前年度予算額： 2,126 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,126	471	0	0	0	0	484	0	1,171
要求額	2,126	496	0	0	0	0	0	0	1,630
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・国(経済産業省及び総務省)の委託事業により、岐阜大学が中心となって進めてきた救急医療の最適化を支援する救急医療搬送支援システム(GEMITS)については、県としてこれまでの実証実験で得られた課題、事業効果を検証したうえで、岐阜大学等の関係機関と協議し、県主導でのプロジェクトの再構築、実用化を進めている。
- ・GEMITSプロジェクトで既に整備されている機器やカードなどの資源を、救急医療現場で有効活用する取り組みを推進し、岐阜県における救急医療の更なる質の向上を目指す。
- ・当事業については、マイナ救急の運用が本格的に開始されるであろう令和8年度末までの運用とする予定。

(2) 事業内容

- ・平成27年度に県が主体となり運用を開始したメディカカード情報読取システムの運用を、利用を希望する地域において継続する。

（３）県負担・補助率の考え方

- ・実施主体 県
- ・国 1／3（医療提供体制推進事業費補助金）

（４）類似事業の有無

- ・類似事業なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,126	システム保守管理費
合計	2,126	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第８期）
第３部－第２章－第６節救急医療対策

（２）国・他県の状況

- ・GEMITSについては、岐阜大学が進めているものであり、国（経済産業省及び総務省）の委託事業として採択され、実証実験を実施した。

（３）後年度の財政負担

- ・事業継続のためのシステム保守管理費、端末サポート費

（４）事業主体及びその妥当性

- ・県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、県が事業主体となり実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

救急現場において、消防機関、医療機関がメディカカードの患者情報を迅速に共有し、患者情報を医療機関での受入れ準備に活かすこと等により患者に対する救急医療提供の向上をめざす。また、様々な事例を検証し、システムのより効率的な運用をめざしていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①メディカカード情報読取件数 (H27は可茂のみ)	0	2	150	150	150	1%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	取組内容：医療用ICカードの患者情報をICTにより情報共有するメディカシステムを運用し救急医療の質の向上を目指す。 成果：メディカカード情報読取り件数 11件 指標① 目標：150 実績：11 達成率：7%
令和5年度	取組内容：医療用ICカードの患者情報をICTにより情報共有するメディカシステムを運用し救急医療の質の向上を目指す。 成果：メディカカード情報読取り件数 3件 指標① 目標：150 実績：3 達成率：2%
令和6年度	取組内容：医療用ICカードの患者情報をICTにより情報共有するメディカシステムを運用し救急医療の質の向上を目指す。 成果：メディカカード情報読取り件数 2件 指標① 目標：150 実績：2 達成率：1%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	岐阜県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、事業の必要性、県の関与の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	メディカカードを全県的に普及させること、読み取ったカード情報をオンラインで共有できる医療機関を拡大する必要がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	GEMITSプロジェクトにおいて、既に整備がなされている機器、カード等の資源を有効活用するものであり、効率的な事業実施方法である。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後の事業展開には、費用負担も含め、メディカカードの普及が鍵である。 また、メディカカード読み込み機能を有したタブレット端末の種類が減少しており、事業を継続する上で、改修が必要となる。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内約1万8千人の患者の命を支えるシステムとして、引き続き、岐阜大学、NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構、病院、消防等と連携しながら事業を進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	